



【サクラのみわけかた】-花-

じゅもくいじんべえ



クマノザクラ (*Cerasus kumanoensis*)は2018年にあたらしいしゅるいとしてほうこくされたやせいのサクラです。きいはんとうの南の山だけに生えています。

「あがら」とはほうげんで、「自分たち」のことです。しんしゅとしてほうこうされたクマノザクラですが、ちいきの人々にとってはとてもみぢかなものでした。「あがらの桜」とは、昔から古座川の人々が見まもりつづけてきたクマノザクラのことです。

そめいよしのよりも花のさくじきが早く、ピンク色の花びらが美しいことがとくちょうです。えだが細くて形やこうようも美しく、ほかのサクラとくらべてもすごくきれいです。

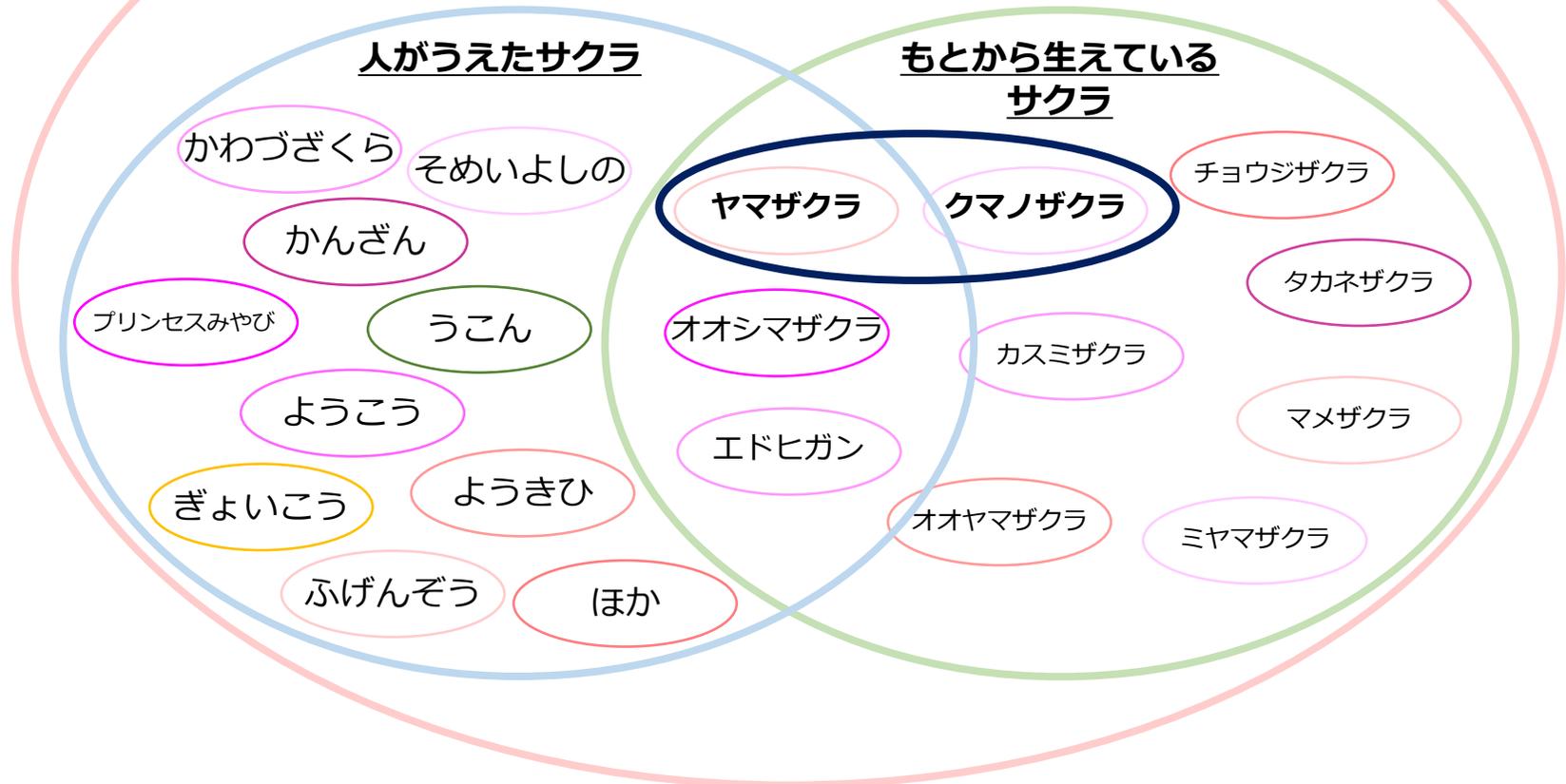
ウサギやシカなどのに食べられたり、ヒトのせいでかすがへっていくことをとてもしんぱいしています。

タネからめが出て、だいたい5年くらいで花がさきますが、お花見ができるようになるまでにはすくなくとも10-15年くらいかかると思います。



日本のサクラ

日本にもともと生えているサクラは10しゅるいですが、それらをもとに人がつくったサクラはだいたい400しゅるいもあります。



- もともと古座川町内に生えていたサクラは、クマノザクラとヤマザクラの2しゅるいだと考えています。
- もともと生えているしゅるいも、ヒトがうえることがあります。
- オオシマザクラはとてもつよく、いろんなところでひとりでにふえています



古座川町でサクラが咲くじきのめやす

2月		3月			4月			5月	
なかごろ	おわり	さいしょ	なかごろ	おわり	さいしょ	なかごろ	おわり	さいしょ	なかごろ
	かわづぎくら								
			クマノザクラ						
					そめいよしの				
						ヤマザクラ (しぜんに生えている)			
					ヤマザクラ (人がうえている)				
		オオシマザクラ							

- ・もともと生えているクマノザクラとヤマザクラの2しゅるいは花のさくじきがべつべつになっています。
- ・オオシマザクラは、花がさくじきがとっても長いサクラです。
- ・あったかさなどによって、花がさくじきはかわります。
- ・花がさくじきがいっしょになると、いろいろと悪いことがおこってしまいます。



3月に花のさいている
山に生えた桜は
クマノザクラっぽい！
ってことだね！！！！

花がさくじきがそれぞれちがうから、
じつぶつの花をくらべるのはむずかしそうだ。
でもどんなちがいがあるのか知りたいなあ。





かじよ：花ぜんたいをさすよびかた

りんぺん：めをつつむうろこのようなところ

かじよへい：花のじくのねもとにちかいところ

ほう：じくのとちゅうの葉っぱみたいなところ

かへい：花のじくの先っぽにちかいところ

かしょうとう：じくの先のつつのようなところ

がくへん：花びらの外がわのかたいところ

かべん：花びらのこと



古座川町でよく見る
4しゅるいのサクラを
くらべてみよう！





クマノザクラ

花がさくじき	早い
花びらの色	白-ピンク
ほうのかたち	たまごがた
かへいの毛	なし
かじょへいの ながさ	短い (あとからのびる)
花のかず	1-3



ヤマザクラ

花がさくじき	おそい
花びらの色	白
ほうのかたち	ちいさな卵がた
かへいの毛	なし
かじょへいのながさ	長い
花のかず	2-4



そめいよしの

花がさくじき	ふつう
花びらの色	ピンク
ほうのかたち	たまごがた
かへいの毛	あり
かじよへのながさ	ほとんどない
花のかず	3-4



オオシマザクラ

花がさくじき	はやい-ふつう
花びらの色	白
ほうのかたち	広いたまごがた
かへいの毛	なし
かじょへいのながさ	長い
花のかず	3-4



知ってほしい！
クマノザクラのこと
サクラを植えることのいみ





【サクラを食べにきたシカ】



【食害を受けたサクラ】



【生えてきたサクラ】

ウサギやシカなどのどうぶつはサクラが大好きでめっちゃよく食べます。

サクラを守るためのカバーをなぎたおしてしまいます。

山の中で生えてきたサクラも、大きくなる前に食べられてしまいます。



【サクラのたねがまじるイタチのうんち】



【サクラのたねがまじるタヌキのうんち】



【タヌキのうんちから生えてきたサクラ】



【かぶんをはこぶハチ】

サクラのまわりには、ヒトのほかにもたくさんのいきものがあつまってきます。

かぶんはハチやハナアブによってはこばれます。さくらんぼはたくさんの鳥やイタチ・タヌキなどのどうぶつに食べられ、うんちにまじってはこばれます。

ヒトがこのようなほかのいきものうごきをコントロールすることはできません。



【かつてにふえまくるオオシマザクラ 串本町しおのみさき】

オオシマザクラは、まきやすみをつくるためにむかしから山にうえられてきました。

まきをつかわなくなっかってにどんどんふえて、もともとあったサクラのじゃまをしています。

古座川町のようないなかでは、庭や公園に植えた木もしぜんに大きくかんけいしています。
オオシマザクラだけではなく、木や草をうごかすときには、
しぜんのことについてよくかんがえなくてははいけません。



古座川町内をちょうさして、ほかのしゅるいとまじったサクラ(しゅかんざっしゅ)を見つけています。

クマノザクラとオオシマザクラとのまじったサクラだとかんがえられますが、それぞれのあいだの形をしています。

まだはっきりと見えていないだけで、山の中にはたくさんあるかもしれません。

もともとあるサクラを守るためには、ほかのサクラのことをきちんと見守る。



きょうごう・とうた

人がかってにうえた強いせいしつのサクラが、もともと生えていたサクラのじゃまをしたり、住んでいるばしょをうばってしまうことがあります。

ちいきせいがなくなる

人がかってにサクラをたくさんうえまくることで、サクラのこせいがなくなってしまいます。

じゅふんのじゃまをする

人がかってにうえたサクラが、もともと生えているサクラのじゅふんをじゃまして、タネができにくくなってしまいます。

いでんてきかくらん

人がかってにいきものをうごかすことで、いでんしがかわってしまいます。
もともとあったサクラのれきしをかえたり、生きていけるかどうかわからなくなってしまいます。



きちんとりかいして
サクラを楽しむことが
大切だよね！

人がかってに木をうえるのはよくないなあ。

うえるならきちんとしらべて、
うえたあともせきにんをもってせわしないとね。





少しずつでも
正しいほうこうにむかう
ことが大切なんだよ！

たくさんうえればまもれる？
そんなかんたんじゃないよね。

まちがったやりかたはかえって
せいたいけいをこわしてしまうよ！

お金のためなら
ほかのいきものをむして良いの？

そんな考えじゃ
うまくいくわけないよね





おうちの人にも
見せてあげてね！

みんなでいっしょに
サクラのことを考えて！





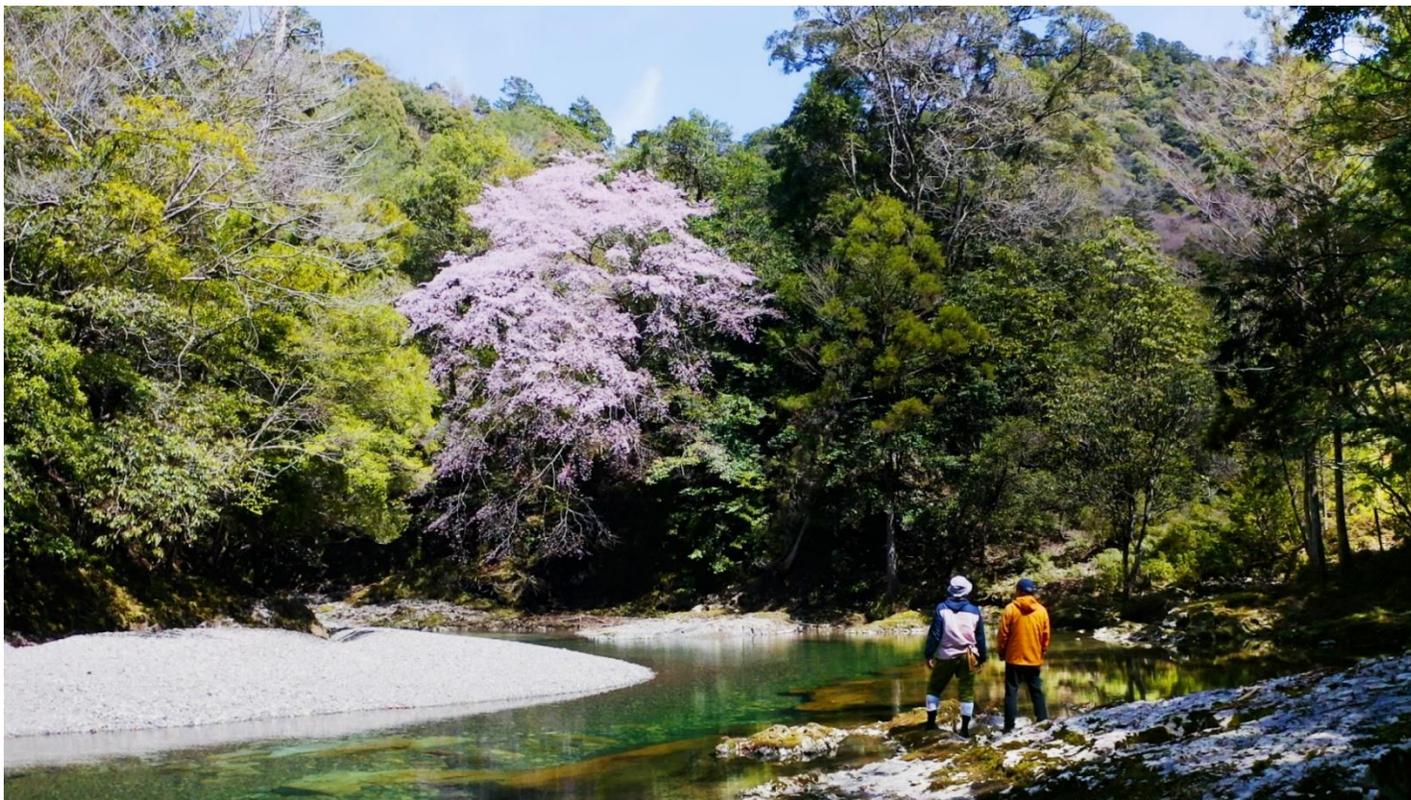
【クマノザクラ】

クマノザクラの挿木については、研究を始めた当初の2016年は0.25%とかなり低い活着率でした。その後研究を重ね、2021年には最大で約60%にまで上昇しました。今後穂木採取の母樹林を整備し、ミストルームなどの設備を充実させれば、さらに活着率を上げることが可能であると考えています。挿木によるクローン苗の増殖に成功したことで、地域絶滅の回避、文化的に価値のある個体の保存、観賞用に優れた形質を有する個体の商業的活用、そしてそれらの基盤となる母樹林の整備に向けて、大きく前進することができました。



【保存したクマノザクラの優良系統】

- 古座川町 池野山タイプ木、池野山系統、武士屋敷系統、高瀬系統、潤野系統、鶴川系統、峯系統、洞尾系統、長追系統、中崎系統、猿川系統、小森川系統、奥番系統
- 串本町 重畳山ちりめん系統、重畳山八重系統、重畳山濃色系統、重畳山早咲系統、紀伊大島系統、高富早咲系統、高富花数系統
- 那智勝浦町 那智山系統、粉白系統、長井八重系統、口色川系統
- 太地町 畠尻湾系統、浅間山系統



古座川町では例年3月15日前後にクマノザクラの開花ピークが訪れます。
3月21日(春分の日)には、小森川保存林内で小森川サクラ祭りを開催しています。

小森川集落の神玉神社では、毎年12月5日に鯛釣り祭りを開催しています。

小森川集落での樹木医甚兵衛の活動と
野生のサクラだけが見せる本当の美しさをぜひ見に来てください。



**あがらの桜をまもるんや！
クマノザクラの桜守
小森川保存林の活動紹介 動画公開中です。**

WEBサイト



Facebook



公式ライン



✉ : jumokui.jimbe@gmail.com

URL : <https://jumokuijimbe.com>

©2023.2 一般社団法人樹木医甚兵衛